

# 2022年度通常総会資料

日 時 2022年2月27日（日）

場 所 会員各位のご自宅等

一般社団法人 札幌農学同窓会東京支部

2022年2月27日

一般社団法人 札幌農学同窓会東京支部

## 2022年度通常総会議事次第

### 1. 開 会

### 2. 理事長挨拶

### 3. 議事録署名人の選出

### 4. 審議事項

- (1) 第1号議案 2021年度事業報告  
及び収支決算・監査報告 P. 1～5
- (2) 第2号議案 2022年度事業計画（案）及び収支予算（案） P. 6～9
- (3) 第3号議案 一般社団法人 札幌農学同窓会東京支部  
規程細則の改定（案） P. 10～12
- (4) 第4号議案 一般社団法人 札幌農学同窓会東京支部  
役員・顧問候補名簿（案） P. 13

### 5. その他の報告事項

- (1) 会費納入状況（年度別、支部別）、東京支部納入率 P. 14～15
- (2) 2022年度支部総会・講演会について  
日 時：2022年2月27日（日）14時00分～15時30分

場 所：会員各位のご自宅等（Zoom 接続）

i) 総会の部 14時00分～14時30分

ii) 講演会の部 14時30分～15時30分

講師：北海道大学理事・副学長（国際、SDGs 担当） 横田 篤先生

横田 篤先生のプロフィール

P. 16

演題：『北大発展の歴史と SDGs の推進に向けた取り組みについて』

※対面懇親会はコロナ禍のため中止

### 6. 閉 会

以上

## 第1号議案

### 一般社団法人 札幌農学同窓会東京支部 2021年度事業報告

新型コロナウイルス感染の状況を見極め行事開催形式を検討しながら行った、2021年度における事業の実施状況は次のとおりである。

#### 1. 通常総会の開催

2月21日(日)14時00より、対面方式での開催は無理であるとの判断のもと、オンライン(Zoom)方式により通常総会を開催し、2020年度の事業報告及び収支決算報告、監査報告、2021年度の事業計画(案)及び収支予算(案)、東京支部規程細則の改定(案)の審議を行った。

#### 2. 理事会の開催

2月7日(日)、4月25日(日)、7月4日(日)、9月12日(日)、11月28日(日)の計5回を何れもオンライン(Zoom)会議により開催し、2021年度通常総会の議事事項及び役員新体制、支部規程細則の改定、支部運営、オンラインシステムの活用等について審議した。

#### 3. 講演会の開催

##### 1) 第1回講演会

2月21日(日)、通常総会に引き続きオンライン(Zoom)方式により、林野庁北海道森林管理局 企画課事業企画係長 平田 美紗子氏(2002年森林科学科卒・2004年環境資源学専攻修了)を講師として招聘し講演会を開催した。演題は「イラストを用いた森林の情報発信～日本の森の応援団を増やす!～」で、参加者は74名であった。

##### 2) 第2回講演会

6月26日(土)、コロナ禍であってもなんとか支部活動を行っていかう、との取組みにより『オンライン講演会』と称して、静岡大学グリーン科学技術研究所教授 河岸 洋和先生を講師として招聘し、「キノコに関わる化学と科学」の演題で講演会を開催した。参加者は50名であった。

##### 3) 第3回講演会

10月30日(土)、北大獣医学部同窓会関東支部との共催、北大東京同窓会後援により、気象予報士、NHKニュースウォッチナイン気象キャスター、株式会社ヒンメル・コンサルティング代表取締役(2000年北大水産学部卒) 斉田 季実治氏を講師として招聘し、「いのちを守る気象情報」の演題で講演会を行った。参加者は168名であった。

#### 4. 「女性同窓生オンラインお茶会」の開催

東京支部女性理事の発案で、女性同窓生が気軽に話し合う場として、女性同窓生をゲストに招く女性限定のオンライン新規行事を始めた。

1) 第1回:5月15日(土)北海道大学大学院農学研究院客員教授 林美香子先生(1976年北大農・農化卒)をゲストに招き、北大卒業後の人生の拓き方をテーマに、ゲストのミニトーク、参加者自己紹介、4名ずつに分かれてのグループトークのプログラムで行った。参加者は他学部出身の同窓生も含め10名であった。

2) 第2回:8月28日(土)埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科教授 秋山美紀先生(北大医療技術短期大学看護学科卒)をゲストに招き、第1回同様のテーマ、プログラムで行った。参加者は10名であった。

## 5. 修了・卒業祝賀会への支部代表の派遣

3月25日(木)の修了・卒業祝賀会に石崎 英治氏(東京支部理事・2000年森林環境資源学科卒・2003年修士修了)を東京支部代表として派遣の予定であったが、行事は中止となり代替措置として、7月発行の札幌同窓会報へ祝辞を寄稿した。

## 6. 関西支部主催「市民公開フォーラム」への支部役員派遣

毎年6月開催の「市民公開フォーラム」に東京支部役員を派遣する予定であったが、コロナ禍のため行事は中止となり、役員派遣の人選は行わなかった。

## 7. 「札幌 アルムニ レクチャー」への講師派遣

秋季開催の北大農学研究院主催「札幌 アルムニ レクチャー」へ東京支部代表の講師を派遣する予定であったが、中止となり代表派遣者の人選は行わなかった。

## 8. 英文 Bushido 等の寄贈活動

農学部に進学する「新渡戸カレッジ」の学生および院生(合計約30名)を対象として、新渡戸稲造の世界的な名著である「Bushido」、内村鑑三の「代表的日本人」「後世への最大遺物」を寄贈する事業は、コロナ感染禍による大学の対応状況により休止した。

## 9. 札幌農学校普及委員会の活動

「札幌農学校」他の出版助成・普及頒布事業については入学・進学時の学生、院生を対象として毎年4月に一括寄贈してきたが、コロナ禍による大学の対応状況により休止した。

## 10. 企画委員会の活動

コロナ禍により各種行事が中止、延期となる中、実質活動は限られたものとなったが、講演会等を企画、実行した。

### 11. 情報委員会の活動

東京同窓会情報処理委員会と連携を図り、2018年度末に開設した東京支部ホームページの充実を図った。コロナ感染禍の影響でオンラインでの行事開催が増えて来た中で、メールマガジン配信を活用してホームページへの行事案内掲載や出席者データの集積、整理などを行った。

### 12. 組織委員会の活動

支部活動の活性化は若手会員の増加が基本との考えに立って、平成卒会員と女性会員の拡充を図るよう、東京同窓会等の各種行事の機会を利用して勧誘していく方針であるが、コロナ感染禍の影響で各種行事が中止となり実質活動は限定的なものとなった。

### 13. 会員名簿の整備

東京支部会員について主に行事案内ハガキによる移動・消息の把握に努め、「札幌農学校同窓会員名簿」の正確性の強化に貢献した。

### 14. 懇親会

総会、講演会等が対面方式での開催が出来ず、そのため懇親会も実施出来なかった。

### 15. その他

限られた活動範囲であったが、他の各種関係団体との連携を図った。

2021年度収支決算  
(2021年1月1日～12月31日)

【一般会計】

(単位：円)

科目	予算額	決算額	差引増減額	備考
I 収入の部				
1 交付金	2,200,000	2,200,000	0	本部から東京支部へ毎年度交付
2 寄付金	0	0	0	
3 利息	20	28	8	
4 前年度繰越	2,659,917	2,659,917	0	
収入合計	4,859,937	4,859,945	8	
II 支出の部				
1 事務諸費	260,000	109,470	▲ 150,530	
(1) 消耗品費	50,000	34,675	▲ 15,325	
(2) 通信運搬費	50,000	40,060	▲ 9,940	
(3) 外注費	70,000	0	▲ 70,000	5,000円×延べ14名
(4) 会議費	60,000	0	▲ 60,000	1,000円×10名×2回
(5) 雑費	30,000	34,735	▲ 4,735	「フロンティア」誌への広告賛助、北大関西同窓会の年会費他
2 事業活動費	2,650,000	965,350	▲ 1,684,650	
(1) 諸謝金	170,000	232,918	▲ 62,918	講演会の講師謝礼
(2) 資料作成印刷費	300,000	166,792	▲ 133,208	総会の資料
(3) 通信運搬費	600,000	372,994	▲ 227,006	総会の案内
(4) 借料	450,000	0	▲ 450,000	支部会合の会場費
(5) 名簿関係費	30,000	13,200	▲ 16,800	メール配信システムの構築費
(6) 交通費	400,000	32,000	▲ 368,000	卒業・修了祝賀式への派遣及び講演会講師の招聘、支部会合の日額旅費
(7) 出版頒布関係費	200,000	0	▲ 200,000	「札幌農学校」の普及頒布関係費
(8) 英文Bushido等寄贈	200,000	0	▲ 200,000	農学部へ進学する新渡戸カレッジの学生及び新渡戸スクールの院生を対象
(9) ホームページ運営費	300,000	147,446	▲ 152,554	
3 予備費	6,000	0	▲ 6,000	
支出合計	2,916,000	1,074,820	▲ 1,841,180	
III 当期収支差額	1,943,937	3,785,125	1,841,188	

2021年度当期剰余金処分案

2021年度の収支差額3,785,125円を当期剰余金として翌年度に繰り越す。

2021年度収支決算  
 (2021年1月1日～12月31日)

【特別会計】

(単位：円)

科目	予算額	決算額	差引増減額	備考
I 収入の部				
1 懇親会等会費	200,000	0	▲ 200,000	2021年2月21日の総会はオンラインにて実施のため、懇親会の開催は見送った。 2021年2月21日と10月30日の講演会はオンラインにて実施のため、懇親会の開催は見送った。
(1)通常総会	0	0	0	
(2)講演会	200,000	0	▲ 200,000	
2 利息	0	0	0	
3 前年度繰越	82,686	82,686	0	
収入合計	282,686	82,686	▲ 200,000	
II 支出の部				
1 懇親会等経費	200,000	0	▲ 200,000	
(1)通常総会	0	0	0	
(2)講演会	200,000	0	▲ 200,000	
2 振込手数料	1,000	0	▲ 1,000	
支出合計	201,000	0	▲ 201,000	
III 当期収支差額	81,686	82,686	1,000	

2021年度当期剰余金処分案

2021年度の収支差額82,686円を当期剰余金として翌年度に繰り越すこととし、翌年度の支部会合の懇親会等の経費の調整財源に充てる。

# 監査報告

一般社団法人 札幌農学同窓会東京支部の2021年度の事業報告及び収支に関する決算書類を監査の結果、その内容は適正であることを認める。

2022年1月13日

監事 高橋 信行 

監事 関 直明 

## 第2号議案

### 一般社団法人 札幌農学同窓会東京支部 2022年度事業計画（案）

新型コロナウイルス感染の状況を見極めながら、札幌農学同窓会東京支部は会員相互の交流及び知識の向上を図るため、2022年度において次の事業を行う。

#### 1. 通常総会の開催

2022年2月27日（日）14時00分～、オンライン（Zoom）会議により開催の予定。

#### 2. 理事会の開催

2022年2月6日（日）10時00分～、オンライン（Zoom）会議により第1回理事会を開催。今後も新型コロナウイルス感染の状況を見極めながら対面方式、オンライン方式等の開催方式を検討しつつ、概ね2ヶ月毎に適宜開催する。

#### 3. 講演会の開催

会員への情報提供の機会として、時宜に適したテーマによる講演会を実施する。

1) 例年2月の通常総会後に会場に参集して講演会を行っているが、昨年度と同様に今年度もオンライン（Zoom）方式での開催とした。2月27日（日）の通常総会後に北海道大学理事・副学長（国際、SDGs担当）横田 篤先生（1979年北海道大学農芸化学科卒・1984年北海道大学大学院農学研究科博了）を講師として講演会を行う。演題は『北大発展の歴史とSDGsの推進に向けた取り組みについて』の予定。

2) 講師、演題、時期等を勘案し、適宜講演会を実施する。

3) 秋季に時宜に相応しいテーマで獣医学部同窓会との共催講演会を実施する。

#### 4. 「女性同窓生オンラインお茶会」の開催

2021年度と同様に女性会員向けの行事として継続し、適宜の間隔で開催する。

#### 5. 修了・卒業祝賀会への支部代表の派遣

3月24日（木）の修了・卒業祝賀会に別所智博氏（東京支部理事・1981年農芸化学科卒）を東京支部代表として派遣の予定であったが、行事は中止となり派遣は行わない。

#### 6. 関西支部主催「市民公開フォーラム」への支部役員派遣

毎年6月開催の「市民公開フォーラム」は6月25日（土）に開催を予定しているが、コロナ感染の状況により決定する。開催の場合は東京支部役員を派遣する。

#### 7. 「札幌 アルムニ レクチャー」への講師派遣

北大農学研究院主催「札幌 アルムニ レクチャー」は開催時期、規模等を検討中であったが、4月開催は中止する。東京支部代表の派遣は行わない。

## 8. 英文 Bushido 等の寄贈活動

農学部に進学する「新渡戸カレッジ」の学生および院生（合計約 30 名）を対象として、新渡戸稲造の世界的な名著である「Bushido」、内村鑑三の「代表的日本人」「後世への最大遺物」を寄贈する。

## 9. 札幌農学校普及委員会の活動

「札幌農学校」出版助成・普及頒布事業として、入学・進学時の学生、院生を対象として毎年 4 月に一括寄贈し、今後も同著書の普及頒布活動を継続していく。

## 10. 企画・交流委員会の活動

企画・交流委員会については、活動の充実を図るため、企画委員会と組織委員会とを統合・改称し 2022 年度に発足したところである。講演会等の企画、講師候補者の選定、支部代表の派遣候補者を検討するとともに支部活動の活性化は若手会員の増加が基本との考えに立って、特に平成卒会員と女性会員の拡充を図るよう、継続して東京同窓会等主催の各種行事の機会を利用して勧誘していくことに加え、農学部の特色を生かした新規行事の企画を検討する。

### 11. 情報委員会の活動

東京同窓会情報処理委員会と引き続き連携を図り、札幌農学同窓会東京支部ホームページの充実を図る。また、新型コロナウイルスの影響で当面はオンラインでの行事開催や資料の電子化等、更なる IT 活用を進める必要がある為、適切な運用体制の構築を図っていく。さらに、引き続き行事案内等を利用して東京支部会員のメールアドレス登録数の拡大を目指し、郵便からメールマガジン配信への転換を順次進めていくとともに、会員名簿整備のため本部情報担当理事との連携を強化する。

### 12. 会員名簿の整備

東京支部会員について行事案内ハガキによる移動・消息の把握に努め、「札幌農学同窓会員名簿」の正確性の向上に努める。

### 13. 懇親会

講演会等が対面方式が可能な場合、その開催の機会を利用し懇親会を行う。

### 14. 会員交流サロンの設置

札幌農学同窓会東京支部会員が自由に参加し、情報交換、意見交換を行う場として、「会員交流サロン」をオンラインで設置する。

### 15. その他

他の各種関係団体との連携を図る。

2022年度収支予算（案）  
（2022年1月1日～12月31日）

【一般会計】

（単位：円）

科目	2021年度 予算額	2021年度 決算額	2022年度 予算額	備考
I 収入の部				
1 交付金	2,200,000	2,200,000	2,200,000	2022年3月11日開催の札幌農学同窓会総会に付議
2 寄付金	0	0	0	
3 利息	20	28	30	
4 前年度繰越	2,659,917	2,659,917	3,785,125	
収入合計	4,859,937	4,859,945	5,985,155	
II 支出の部				
1 事務諸費	260,000	109,470	260,000	
(1) 消耗品費	50,000	34,675	50,000	
(2) 通信運搬費	50,000	40,060	50,000	
(3) 外注費	70,000	0	70,000	5,000円×延べ14名
(4) 会議費	60,000	0	60,000	1,000円×12名×5回
(5) 雑費	30,000	34,735	30,000	「フロンティア」誌への広告賛助及び北大関西同窓会の年会費他
2 事業活動費	2,650,000	965,350	3,870,000	
(1) 諸謝金	170,000	232,918	120,000	講演会等の講師謝礼
(2) 資料作成印刷費	300,000	166,792	370,000	総会・講演会等の資料
(3) 通信運搬費	600,000	372,994	600,000	総会・講演会等の案内
(4) 借料	450,000	0	550,000	支部会合の会場費
(5) 名簿関係費	30,000	13,200	30,000	メール配信システムの構築費用
(6) 交通費	400,000	32,000	400,000	卒業・修了祝賀式への派遣及び講演会講師の招聘、支部会合の日額旅費
(7) 出版・領布関係費	200,000	0	1,200,000	「札幌農学校」の増刷、普及領布関係費
(8) 英文Bushido等寄贈	200,000	0	200,000	農学部へ進学する新渡戸カレッジの学生及び新渡戸スクールの院生を対象
(9) ホームページ運営費	300,000	147,446	400,000	2019年度より運営を開始、更新管理費、会合のオンライン化への対応費用
3 予備費	6,000	0	6,000	
支出合計	2,916,000	1,074,820	4,136,000	
III 当期収支差額	1,943,937	3,785,125	1,849,155	

2022年度収支予算（案）  
 （2022年1月1日～12月31日）

【特別会計】

（単位：円）

科目	2021年度 予算額	2021年度 決算額	2022年度 予算額	備考
I 収入の部				
1 懇親会等会費	200,000	0	200,000	
(1) 通常総会	0	0	0	2022年2月27日の総会はオンラインにて実施の予定で、懇親会の開催は見送る。 2022年秋期には獣医との共催を予定する。 40名×5,000円
(2) 講演会	200,000	0	200,000	
2 利息	0	0	0	
3 前年度繰越	82,686	82,686	82,686	
収入合計	282,686	82,686	282,686	
II 支出の部				
1 懇親会等経費	200,000	0	200,000	
(1) 通常総会	0	0	0	
(2) 講演会	200,000	0	200,000	
2 振込手数料	1,000	0	1,000	
支出合計	201,000	0	201,000	
III 当期収支差額	81,686	82,686	81,686	

第3号議案

一般社団法人札幌農学同窓会東京支部 規程細則改定（案）

新旧対照表の改定部分は\_\_\_\_\_で表示

主旨：東京支部は1989年（平成11年）5月に設立され、これまで多くの会員が役員として携わって来たところであるが、中には設立当時から継続して就任している者を始め、在任期間が長期となった役員もいる。支部運営の活性化のためには、出来るだけ役員の新陳代謝を図り若手、女性会員の任用に努めることが必要である。このため、本部の任期に合わせて1期2年、最長を8年とするため本規程細則の改定を行うこととする。

新 旧 対 照 表

新	旧
<p>第3条 <u>理事及び監事の任期は1期2年とし、最長4期8年までとする。</u> <u>一度東京支部役員を退任した者（関東以外に移転した者も含む）についても、通算8年までは、再就任可能とする。</u> 補欠または増員による役員の任期は、前任者または現存者の残存期間とする。 <u>但し、本部と東京支部との改選期の差異を解消するため、令和4年度からの1期は3年とするとともに令和4年からの1期の役員については、やむを得ない場合に限りこれまでの就任期間あるいは令和4年からの任期中、8年を超えることを可とする経過措置を設ける。</u></p> <p>附則 <u>この細則は、令和4年2月27日から施行する。</u></p>	<p>第3条 <u>理事及び監事の任期は3年とし、再選を妨げないが原則として3選は認めない。</u> 補欠または増員による役員の任期は、前任者または現存者の残存期間とする。</p>

- 第1条 本支部に次の役員を置く。
- |    |            |
|----|------------|
| 理事 | 10名以上22名以内 |
| 監事 | 2名         |
- 第2条 理事及び監事は、会員中から選任し総会の承認を得て決定する。  
理事及び監事は、原則として各学科より1名以上選出する。  
理事は互選で理事長1名を選出する。  
理事長は、副理事長2名以内を指名することができる。
- 第3条 理事及び監事の任期は1期2年とし、最長4期8年までとする。  
一度東京支部役員を退任した者（関東以外に移転した者も含む）についても、通算8年までは、再就任可能とする。  
補欠または増員による役員の任期は、前任者または現存者の残存期間とする。  
但し、本部と東京支部との改選期の差異を解消するため、令和4年度からの1期は3年とするとともに令和4年からの1期の役員については、やむを得ない場合に限りこれまでの就任期間あるいは令和4年からの任期中、8年を超えることを可とする経過措置を設ける。
- 第4条 理事長は本支部を代表し、事務を総理する。  
副理事長は理事長を補佐し、理事長に事故あるとき、または欠けたときは、その職務を代行する。
- 第5条 理事は理事会を組織し、総会の権限以外のことで本支部の運営に必要な事項について決議し執行する。
- 第6条 監事は本支部の業務の執行及び財産・会計の状況について監査する。
- 第7条 本支部に必要な応じて顧問を置くことができる。顧問は総会の承認を得て会員中よりこれを推薦し、任期は理事の任期に準ずる。
- 第8条 理事会は、本部に対し代議員を推薦する。
- 第9条 理事会は毎年1回理事長が招集して開催する。  
但し、理事長が必要と認めたとき、または理事現在数の3分の1以上から請求のあった場合は、理事長は臨時理事会を招集しなければならない。  
但し、当該議事について予め書面による意思表示のあった者は、出席者とみなす。  
理事会の議長は理事長とする。  
理事会は、理事現在数の3分の2以上の出席を以って成立し、出席理事数の過半数を以って議事を決する。
- 第10条 理事会は、出席者が一堂に会するのと同様に十分な意見交換ができる環境にある場合は、ウェブ会議、テレビ会議、電話会議、メール会議などにより開催することができる。

- 第11条 通常総会は、毎年1回理事長が招集して開催し、その時期は原則として2月とする。  
臨時総会は、理事会が必要と認めるとき、または会員の内20人以上から請求のあった場合、理事長は臨時総会を招集しなければならない。  
通常総会の議長は理事長とし、臨時総会の議長は会議の都度会員の互選により定める。  
総会は、現在会員の20分の1以上の出席を以って成立し、出席会員数の過半数を以って議事を決する。
- 第12条 総会は、出席者が一堂に会するのと同様に十分な意見交換ができる環境にある場合は、ウェブ会議、テレビ会議、電話会議、メール会議などにより開催することができる。
- 第13条 次の事項は、通常総会に提出してその承認を受けなければならない。  
1. 事業計画及び収支予算  
2. 事業報告及び収支決算  
3. 財産目録（及び貸借対照表）  
4. その他理事会において必要と認めた事項。
- 第14条 総会の議事要項及び決議した事項は、会員に通知する。
- 第15条 総会及び理事会の議事録は、議長及び出席者代表2名が署名捺印のうえ、これを保存する。
- 第16条 総会の議事及び決議事項は、本部理事会に報告する。
- 第17条 本支部には、必要に応じて委員会を設置することができる。  
委員会の設置及びその活動内容は理事会で定める。  
委員会の委員は理事より選任するが、必要な場合は理事以外の会員から理事長が指名する。
- 第18条 本支部の資産は、本部よりの交付金、会費、寄付金及びその他の収入を以って充てる。
- 第19条 本支部の会計年度は、毎年1月1日に始まり同年12月31日に終わる。
- 第20条 本支部の規程及び細則の変更は、理事会及び総会において出席者の4分の3以上の決議を以って行う。  
但し、規程の変更については本部の承認を受けなければならない。
- 附則 この細則は、平成11年 5月17日から施行する。
- 附則 この細則は、平成16年 2月 9日から施行する。
- 附則 この細則は、平成19年12月 4日から施行する。
- 附則 この細則は、平成22年 2月22日から施行する。
- 附則 この細則は、令和 3年 2月21日から施行する。
- 附則 この細則は、令和 4年 2月27日から施行する。

第4号議案

一般社団法人 札幌農学同窓会東京支部 役員・顧問候補名簿(案)

東京支部規程細則による役員の任期満了により、2022年度～2024年度の任期3年とする役員候補の名簿を提議します。

2022年2月27日

役 職		学科	卒業	氏 名	勤 務 先	備 考	
役 員	理事	理事長	農学	H07	溝口 尚重	(株)レガロキャピタル 取締役 経営管理部 部長	
			農経	S47	春名 敏弘	春名敏弘ソーラーオフィス 代表	
			S58	櫻田 巧	(株)中央コンピューターシステム 元代表取締役社長		
		農生					
		副理事長	農化	S54	水上 裕之	横浜港運協会 常務理事	
				S56	別所 智博	(株)クボタ 機械統括本部 顧問	
		S58		高木 忍	ST グローバル バイオ・ネット 代表		
		S62		西野 順子	富士フーバー(株) 経営企画部 CSR担当グループリーダー		
		林学	H02	関口 高士	林野庁 森林整備部 計画課長	新任理事候補	
		林産	S49	山本 幸一	(公社)日本木材保存協会 参与		
		畜産	H04	ブエ 真奈美		新任理事候補	
			H05	尾嶋 好美	筑波大学 サイエンスコミュニケーター		
	農工	S62	高橋 寛	(株)エリートネットワーク カウンセリング事業部 執行役員			
	森林科学	H09	榎 裕之				
		H12	石崎 英治	(株)クイージ 代表取締役			
		H20	日向 潔美	林野庁 林政部 木材産業課 課長補佐	新任理事候補		
		H26	石井 貴史	林野庁 国有林野部 経営企画課	新任理事候補		
	農学	S37	高橋 信行	(一社)日本公演施設業協会 監事	退任監事		
		H01	三井 晃一	三晃堂三井印店 代表	退任理事		
	農経	S62	関 直明		退任監事		
	農化	S42	土崎 南	日本微生物クリニック(株) 代表取締役	退任理事		
		S42	堀田 国元	(一財)機能水研究振興財団 理事長	退任理事		
監 事	農生	S45	大島 稔彦				
	農工	S48	坂倉 雅夫	栗田鑿岩機(株)営業部長			
顧 問	農化	S35	桜庭 慎吾	全日本漢詩連盟 顧問、(一社)札幌農学同窓会 名誉会員			
	農化	S46	松沢 幸一	(株)明治屋 特別顧問			
	林学	S50	梶谷 辰哉	(一社)緑の循環認証会議 専務理事/事務局長			

会 費 納 入 状 況 （年度別、支部別）

年度	全 体					東京支部			関西支部		
	全会員 数	住所不 詳者	差引	会費納 入者	会費納 入率	全会員 数	会費納 入者	会費納 入率	全会員 数	会費納 入者	会費納 入率
17	13,526	3,423	10,103	2,344	23.20%	3,751	876	23.35%	627	123	19.62%
18	13,692	3,811	9,811	2,116	21.41%	3,624	784	21.63%	607	109	17.95%
19	13,705	4,006	9,699	2,182	22.49%	3,572	807	22.59%	593	110	18.54%
20	13,658	4,218	9,440	2,096	22.20%	3,511	802	22.84%	564	118	20.92%
21	14,107	4,925	9,182	2,009	21.87%	3,441	744	21.62%	534	117	21.91%
22	14,257	5,264	8,993	1,860	20.68%	3,362	683	20.31%	525	99	18.85%
23	14,392	5,431	8,961	1,835	20.47%	3,341	678	20.29%	535	107	20.00%
24	14,546	5,610	8,936	1,725	19.30%	3,350	604	18.03%	552	99	17.93%
25	14,695	5,737	8,958	1,669	18.63%	3,326	612	18.40%	565	88	15.57%
26	14,861	5,685	9,176	1,701	18.53%	3,400	614	18.05%	611	107	17.51%
27	14,970	5,606	9,364	1,708	18.24%	3,476	645	18.55%	650	109	16.76%
28	15,105	5,810	9,295	1,681	18.08%	3,447	621	18.01%	652	107	16.41%
29	15,247	5,998	9,249	1,609	17.39%	3,465	579	16.70%	661	117	17.70%
30	15,375	6,146	9,229	1,648	17.85%	3,415	591	17.30%	677	114	16.84%
2019	15,535	6,406	9,129	1,533	16.79%	3,362	538	16.00%	676	106	15.68%
2020	15,663	6,665	8,998	1,537	17.08%	3,335	542	16.25%	676	107	15.82%
2021	15,826	6,917	8,909	1,634	18.34%	3,311	594	17.94%	674	117	17.35%

注 1)「会費納入者」には、5 年まとめ払いなどにより過年度に納入済みの会員を含む。

注 2) 基準日が、年度により、同窓会員名簿作成時(10 月)或いは年度末(12 月末)と異なっている。

また、特別会員を除いて計算した年度もあるため、あくまで参考資料とする。

## 東京支部納入率（2021年12月31日 現在）

	県名	自宅	勤務先	自宅+勤務先	自宅納入者	勤務先納入者	納入者(自+勤)	納入率
1	新潟県	57	2	59	6	0	6	10.16%
2	長野県	78	7	85	10	0	10	11.76%
3	茨城県	240	40	280	40	2	42	15.00%
4	群馬県	57	5	62	9	0	9	14.51%
5	栃木県	95	5	100	21	0	21	21.00%
6	埼玉県	391	17	408	70	0	70	17.15%
7	千葉県	430	12	442	85	1	86	19.45%
8	東京都	907	158	1065	189	8	197	18.49%
9	神奈川県	576	24	600	113	1	114	19.00%
10	山梨県	30	1	31	9	0	9	29.03%
11	静岡県	166	13	179	30	0	30	16.75%
12G		3027	284	3311	582	12	594	17.94%

## 横 田 篤 先 生 の プ ロ フ ィ ー ル

横 田 篤 (よこた あつし)

### 略 歴

- 1984 年 北海道大学大学院農学研究科博士課程修了
- 1984 年～1989 年 5 年間民間企業勤務
- 1989 年 北海道大学農学部助手
- 1992 年 北海道大学農学部助教授
- 1996 年～1997 年 オランダ王国フローニンゲン大学研究員
- 2000 年 北海道大学大学院農学研究科教授
- 2015 年 北海道大学農学研究院長・農学院長・農学部長
- 2020 年 北海道大学理事・副学長 (国際、SDGs 担当) (現職)